

NEWS RELEASE

2026年6月3日

生成 AI を活用した AI 型チャットボット 「NaviA Powered by OpenAI」の提供を開始

～ 中小企業の「人手不足」と「DX の遅れ」を、印刷会社ならではの伴走型支援で解決する ～

株式会社岐阜文芸社（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役：飯尾 賢、以下当社）は、生成 AI を活用した AI 型チャットボットサービス「NaviA（ナビア） Powered by OpenAI」を、当社の DX ソリューションにおける「業務効率 DX」を担う中核サービスと位置づけ、今般、提供を開始しました。



本サービスは、PDF・URL・FAQデータを登録することでAIが自動学習し、利用者からの質問に的確に回答するAI型チャットボットです。OpenAIのAPIを活用しながらも、登録データはプライベート環境に保管され再学習には利用されない安心のセキュリティ体制を整備。さらに月額2万円～という導入しやすい価格設定により、コストや運用負荷を理由にAI導入を見送ってきた中堅・中小企業にも、手軽にご活用いただけます。

対話型AI「ChatGPT」の登場以降、生成AIは急速に普及し、業務効率化や顧客対応の自動化など活用領域は拡大を続けています。一方、地域の中堅・中小企業では「専門人材の不足」「セキュリティへの不安」「導入コストの負担」が壁となり、本格的な活用に踏み出せていないケースも少なくありません。加えて、2040年には全国で1,100万人の労働力不足が見込まれ、岐阜県でも生産年齢人口が5年後に5.3%減少すると予測されています。問い合わせ対応や情報共有にかかる日常業務の負担は、人手不足の進行とともに大きな経営課題となりつつあります。

当社は「心豊かなコミュニケーション社会の構築」を理念に掲げ、紙とデジタルの双方で「伝える」「残す」を支える事業を展開してまいりました。現在は、DXを融合した事業モデルへの転換を進め、情報発信から業務改善、マーケティングまで一貫してお任せいただける「地域の情報・DXパートナー」を目指しております。本サービスは、その中核を担うDXサービスとして、地域企業の生成AI活用に向けた第一歩を伴走支援するものです。

今後は、自治体や医療・教育・観光・製造業をはじめ、人手不足や業務負担の増大に課題を抱える現場への解決策として提案活動を行ってまいります。あわせて、印刷・Web制作・BPOといった当社の事業基盤を掛け合わせることで、最適な業務支援を実現し、心豊かなコミュニケーション社会づくりに貢献してまいります。

■ 参考情報

「NaviA Powered by OpenAI」専用サイト <https://www.bungeisya.co.jp/navia/>